

機関報告

カーロリ・ガーシュパール大学

文責：ウァッロークイロナ

後藤史与

若井誠二

1. 基本的データ

名称：Károli Gáspár Református Egyetem, Bölcsészettudomány Kar Japán Szak.

カーロリ・ガーシュパール・カルビン派大学 人文学部 日本学科

開講年度：1995年

住所：Budapest, 1088, Reviczky utca 4/c

電話：(36)-1-483-2866 (Fax も)

2. カリキュラムに関するデータ

期間：5年制（全日制）

定員：各学年30名

資格：人文学（日本学）修士（及び日本語教師）

教員：専任8名（日本人4名）・非常勤10名（日本人0名）

進路：留学、就職（一般企業・教員）、進学

3. 経緯

年	出来事
1994年	短期集中日本語準備コースを発足（現在も週15時間の集中日本語準備コースとして毎年行われている。期間：学年に合わせて一年間）
1995年	カーロリ・ガーシュパール・カルビン派大学文学部日本学科（教員養成課程・人文学課程）を開講
1997年	国際交流基金日本語能力試験の実施機関となる
1997年	ハンガリー文部省高等教育支援プログラムに応募し、「コンピュータを利用した日本語教育」をテーマにした応募で150万フォロントの支援を得て、日本学科専用のコンピュータ室を作る（情報処理室）

4. 開設講座一覧（2000/2001年度）（1コマ45分/週）

講座名	コマ	講座名	コマ
1年生		5年生	
国語学入門	2	日本語（作文）	2
日本語学入門	1	日本語教授法	6
日本国概論	2	教育実習	
一般言語学	2	論文作成	
日本語（文法）	2		
日本語（会話）	2		
日本語（語彙）	2		
2年生		選択科目（ゼミ・3年生以上）	

日本史	2	日本社会学	2
日本語学入門	1	日本語語彙論	2
日本文学史	1	社会言語学	2
日本文学講読	2	現代文学	2
日本語（文法）	2	古典文学	2
日本語（会話）	2	比較文学	2
日本語（語彙）	2	戦後日本の社会と文化	2
		古典女流文学	1
		現代日本の教育	2
		翻訳演習	2
		日本語コンピュータ入門	4
		中国仏教美術史	2
		論文の書き方	2
		日本音楽史	2
		日本経済資料講読	2
		日洪対照言語学	2
3年生			
日本宗教史	2		
日本語文法学	2		
古典	2		
日本文学史	1		
日本語教授法	2		
日本語（メディア）	2		
日本語（会話）	2		
4年生		その他（入学準備・通称0年生）	
日本文化と中国	2	日本語（文法）	6
日本美術史	2	日本語（会話）	6
現代日本	2	日本語（漢字）	1
漢文	2	日本語（作文）	2
日本語（位相語）	2		
日本語（会話）	2		
日本語教授法	2		

5. 各種試験

(1) 入学試験

筆記：漢字・語彙・文法・読解（日本語能力試験3級程度）

作文（一般的なテーマ300字）・翻訳

面接：日本語による志望動機及び試験官の質問に対する受け答え

ハンガリー語による希望研究分野についての試験官に対する受け答え

進級試験（2年生修了時・60%で合格、不合格者は留年）

筆記：日本語基礎試験（漢字・語彙・文法）（日本語能力試験2級程度）

作文（800字）

面接：日本語基礎・言語学・文学

日本語修了試験（4年生修了時・60%で合格、不合格の場合は留年）

筆記：翻訳（新聞記事など一般的内容）

日本語試験（漢字・語彙・文法）（日本語能力試験1級半程度）

作文（研究テーマについて・1200字）

卒業試験（5年生修了時・不合格の場合は留年）

面接：論文審査

教授法に関する応答（教職課程履修者のみ）

6. 特記事項

(1) 取り組み・問題点など

2000 年度より、入学準備コースから 4 年生修了時までの日本語能力到達目標を明らかにし、新基準にあわせた語学授業、進級試験などを実施。

同大学は現在仮認定中であり、2002 年 6 月に正式認定に関する決定が下される予定。

(2) 実績

国際交流基金関係

- ・日本語能力試験試験実施会場
- ・1999 年度・2001 年度客員教授
- ・日本語教師研修 (1997,98,99 年度)
- ・邦人日本語教師研修 (2000 年度)
- ・教材援助および専門図書援助 (1995 年度～)
- ・機材援助 (2000 年度)
- ・日本語ハンガリー語辞書作成準備援助 (2000 年度)
- ・成績優秀者研修 (1996 年度～)

国際協力事業団関係

- ・青年海外協力隊 (1996,97 年度)

その他

- ・毎年数名が文部科学省の日研究生として日本へ留学
- ・大阪万博基金より 300 万円相当の専門図書援助